

標 題 : Interaction between Mediterranean diet and statins on mortality risk in patients with cardiovascular disease: Findings from the Moli-sani Study.  
心臓血管系疾患のある患者の死亡リスクに対する地中海食事とスタチンとの間の相互作用 : Moli-sani 研究からの所見

---

著 者 : M. Bonaccio, et al. (イタリア IRCCS Neuromed 疫学・予防部)

---

掲 載 誌 : Int. J. Cardiol. 2019 Feb 1; **276**: 248–254

---

要 旨 :

背 景 : 健康的な食事を採用するようにとの勧告と共に、スタチンは心臓血管系疾患の患者に処方される。

心臓血管系既往症のある患者の死亡リスクに対するスタチンおよび地中海食事の単独および組合せた影響を、住民を対象とした追跡コホートからの実際のデータを用いて、我々は評価した。

方 法 : Moli-sani 研究の登録時に心臓血管系既往症のある被験者 1180 人(平均年齢 67.7±10 歳)で 7.9 年間(中央値)追跡した縦断的解析。

地中海食事の順守を、地中海食事スコアで評価した。

ハザード比(HR)と 95%信頼区間(95%CI)を、多変量コックス回帰および競合リスクモデルによって計算した。

結 果 : 地中海食事スコアの 2 点上昇と関連する多変量リスク推計は、総死亡で 0.84 (95%CI 0.70-1.00)、心臓血管系死亡で 0.77 (0.61-0.97)および冠動脈疾患/脳血管死亡では 0.70 (0.52-0.93)であった。

スタチンは、死亡リスクと関連しなかった。

スタチンと地中海食事の平均一高い順守を組合せた被験者は、スタチンを使用せず平均一高い順守の地中海食事でない被験者と比較して、心臓血管系および冠動脈疾患/脳血管の死亡のずっと低い期待リスクであった (相互作用の  $p=0.045$  および  $0.0015$ ) 。

平均一高い順守の地中海食事とスタチンの組合せは、相乗的とみえる仕組みで軽度の炎症の減少と関連したが、血中コレステロールは関連しなかった。

結 論 : 地中海食事は、全原因、心臓血管系および冠動脈疾患/脳血管の死亡リスクを心臓血管系疾患の患者で、スタチン抜きで低下させた。

同じ集団で、スタチンは地中海食事との組合せだけで心臓血管系疾患の死亡リスクを低下させた。

脂質でなく軽度の炎症が、死亡リスクに対する地中海食事とスタチンとの間の相互作用の経路の可能性が高い。

著作権© 2018年 エルゼビア B.V. 版權所有。

キーワード： 心臓血管系疾患、心臓血管系患者、脳血管系リスク、地中海食事、死亡、  
心臓・脳血管系の二次予防

---